

事務局 江別市大麻園町

29-11

小島 忍方

北大教育学部同窓会

郵便番号 小樽7-4329

### 教育研究科・学部の近況報告



65年卒 臨床心理

教育学部長 諸富 隆

鏡木 朝英 先生揮毫

同窓会の皆様にありましては、ご健勝にお過ごしのことと存じます。私は、研究科長・学部長に就任して、早いもので一年五ヶ月が経過いたしました。

この間、大学をめぐる情勢の変化は著しく、前回触れました大学の独立行政法人化は、既定の方針となり、現在は、遠山文部科学大臣が経済諮問会議で説明した「大学(国立大学)の構造改革の方針」、いわゆる「遠山プラン」による大学の再編・統合(国立大学の大削減)が大きな問題となっています。遠山プランは、三つの柱から成り立っています。

第一は、国立大学の再編・統合を大胆に進める(国立大学の大幅削減)第二は、国立大学に民間的発想の経営手法を導入する。第三は、大

学に第三者評価による競争原理を導入し、国公私立トツブ三〇校(分野ごと)と三〇校選択)に資金を重点配分し、これらを世界の最高水準に育成する。この中で、北海道教育大学等の教員養成大学・教育学部については、はつきりと縮小再編の方向が打ちだされていますし、都道府県に一総合大学を存続させる

ということも明確に否定されています。この遠山プランは、小泉内閣が大学の民営化の方向を明確にしていました。この遠山プランによるとき、国立大学を残していくための文部科学省としてのぎりぎりの抵抗ということも考えられなくもないですが、このプランからは、文部科学省が日本の学術教育研究体制をどのように構築しようとしているのか、理念も含めて全く見えでこ

うなプランを考えていると、もよいように思います。常に未来はないと明言していくには、裾野は広ければ広いほどよいわけですから。私達は、地方の国立大学が地方の文化の育成や産業の振興・発展に果たしてきた役割、それ以上に国民の高教育の要求に応え、知識を拡大し科学技術の基礎を支えてきた役割を絶対に見逃してはならないよう

思います。今、私達に求められていることは、「構造改革」という幽靈に驚かされることなく、日本の学術教育研究の将来像を私達大学の人手によって責任をもつて社会に提示してゆくことであるうと考えます。

さて、私達研究科・学部の状況についてですが、基本的には前回の報告から大きな変化はありません。前回述べましたように、教育学部は、昨年四月から大学院講座制(いわゆる大学院大学)となり、学部・大学院に置かれていた十一講座・一大講座は、教育臨床・教育計画・健康スポーツ科学の

### ◇ 同窓会広告 ◇

同窓会総会案内(定時10月第3木曜日)

一、平成13年10月18日(木)

一、午後6時より約2時間

一、札幌市北区北24条西5丁目

札幌サンプラザ3F

一、会費 7000円

(同窓会年会費 2000円  
・宴会費 5000円)

三基幹講座と乳幼児発達論・生涯学習計画論の二協力講座に再編され、教育と研究の重点を大学院に移しました。

柔軟に組織され、その基で教育と研究が行われ豊かな成果を上げきました。しかし、大学院講座制への移行によって、大学院の学生定員は二倍となり、入学者の中での社会人大学院生の占める割合も大きいという状況にあって、大学院講座制という新しい教育・研究体制において、大学院教育をいかに充実させていくかが重要な問題となっていました。特に、大学院講座制の運営に密接に関わっている課程博士の学位を、博士後期課程の三年間で取得

柔軟に組織され、その基で教育と研究が行われ豊かな成果を上げました。しかし、大学院講座制への移行によって、大学院の学生定員は二倍となり、入学者の中での社会人大学院生の占める割合も大きいという状況にあって、大学院講座制という新しい教育・研究体制において、大学院教育をいかに充実させていくかが重要な問題となっていました。特に、大学院講座制の運営に密接に関わっている課程博士の学位を、博士後期課程の三年間で取得

平成13年10月1日  
会員同窓会 大連大学教育部  
させるための大学院教育や指導体制をどう確立するか、教育学の基礎や研究の方法について一定の弱さを持つ社会人大学院生の補完教育をどう行つていくか、また、学部教育と大学院教育の接続性と独自性を十分に考慮した教育課程・内容をどのように構成するか等が今、私達に課せられている緊急の課題であると考えています。現在、研究科内の委員会において、これらの課題に応えるべく、現行の大学院教育の点検と新たな大学院教育・指導体制の構築へ向けての検討が急ピッチで進められています。

さらに、大学院講座制への移行は、上述したような大学をめぐる情勢の変化もあって、次のような問題を私達に提起しています。それは、大学院講座の機能を研究に重点を置き、教育は研究者の養成に特定化するか、あるいは、従来のように、研究者の養成に加えて高等職業人の養成と再教育を、大学院講座の機能の中に含めるかという問題です。どれ以降の大学院改革の進め方は、大きく変わってきま

す。この点についての具体的論議は、教育学研究科教授会の中では行われていませんが、北海道大学内における再編の問題とも係わつて、早晚結論を出さなければならぬ問題のように思ひます。

(TEL)一一七〇六一〇〇八  
に問い合わせください。私  
達教育学研究科は、九月二  
十九日(土)一四：〇〇から  
学術交流会館において子供  
のこころとからだと學習障  
害—身体的技能としての認  
知」という題で講演と討論  
の会を持ちます。興味のある  
方はご出席ください。

それでは 同窓会の皆様  
の教育学研究科・学部に対  
するご支援を心からお願ひい  
して、教育学研究科・学部  
の近況報告を終わります。

「人間科学」研究と  
教育の日々

院教育の点検と新たな大学院教育。指導体制の構築へ向けての検討が急ピッチで進められています。

さらに、大学院講座制への移行は、上述したような大学をめぐる情勢の変化もあって、次のような問題を私

建設予定地の遺跡の発掘調査が行われていますが、建設予定地から北海道で初めて約二〇〇〇年前の縄繩文時代の集落跡が発掘されたのです。北海道大学は、遙か縄繩文時代の人の生活となつながらっていたのですね。

の近況報告を終わります。



北海道大学教育学研究科

も身近なものを捉えるのに苦労した末に、身体の構造と機能から出発し、心・精神、社会的側面を総合的に把握しなければ人間を把握することはできないという当然のようない結論に達しています。こちらの前は、医学部生理学講座の助手として恒温動物が寒冷環境に生理的に適応するメカニズム(特にエネルギー代謝と体組成)の研究に関わっていました。伊藤眞次教授の主宰する講座でした。寒さに対する適応の機構が運動適応(トレーニング)時の変化に共通する部分の多いことに気づいた頃に、タイミングよく教育学部に迎えていただいたのですが、それ以来20年経ちます。ですが、この間やつてきた研究と教育の日々は、悔い残りますが、楽しいものでした。20年間の主な研究課題(研究助成課題として採択されたもの)から、人間科学研究者としての歩みの紹介をさせていただこうと考

の発達および機構に関する研究（一九九二～九三）  
（二）成人女子の寒冷下体温調節反応と持久的体力に影響する諸因子の解明（一九九三～九四）（三）成人女性の性周期が防衛体力と行動体力に影響する機構の解明（一九九五～九六）（四）身体運動と睡眠に関する調査並びに実験研究（一九九六～九七）  
（五）防衛体力向上し、ストレス耐性を強化する積極的休養法としての水中運動に関する研究（一〇〇〇）（六）情動の最適化をもたらす運動と体温・脳ホルモン・免疫能の関連（一〇〇〇～〇二予定）

〈青年期の心身の健康、特に精神的健康を達成する条件に関する研究課題〉

(一) 自律訓練法の応用による青年期のストレス耐性並びに心身不適応状態の克服に関する基礎研究(一九八五)

(二) 青少年のライフスタイルと精神的健康に関する研究(一九八七) (三) ライフス

タルの違いが青年期の心身諸機能に及ぼす影響に関する生理学的研究(一九八九)

（高齢者のSuccess Story  
Ageingに関する研究課題）

（一）都市部におけるスポーツ健康教室参加高齢者の健康・生きがい・基礎体力に関する研究（一九八九）

（二）都市部における老人クラブ参加高齢者の健康・生きがい・基礎体力に関する研究（一九九〇）（三）道東地域に居住する在宅高齢者の健康・生きがい・基礎体力に関する研究（一九九一）

（四）女性高齢者の健康・生きがい・基礎体力に関する研究（一九九三）（五）生涯体育と高齢者の健康・生きがい・基礎体力に関する研究（一九九五）（六）利尻町民の長寿とライフスタイルの特徴に関する調査研究（一九九五）（七）パークゴルフ愛好高齢者の健康・生きがい・基礎体力に関する研究（一九九六）（八）高齢者のQOL向上と芳香療法の可能性（一九九九）

〈食生活と健康に関する研究課題〉

（一）フィリピンと日本／北アイルランドと日本の比較研究として展開してきましたが、日本の食教育の課題についても現在は研究して



こらないが、このままでは、来年八月に、また靖国神社問題が発生する可能性がある。第一に、昭和天皇の戦争責任である。戦後昭和天皇は、そのまま帝位にとどまり、米国政府により戦争責任も不間にされたが、歴史をみると道義的責任はあるという疑念をいだかざるを得ない。○一年アメリカのピュリツア賞を受賞したアメリカの歴史家ハーバート・ビッグスの著書「裕仁と近代日本の形成」(○○年原本出版、○二年邦訳、講談社刊行予定)の朝日新聞紙上解説(○○年十一月八日付、一橋大学名誉教授中村政則氏)によれば、海外から昭和天皇像をぬりかえられたと言われる本書は、天皇裕仁が日中戦争から太平洋戦争の全期間、戦争指導に強く関わった事実を克明に明らかにし、戦後天皇裕仁が「新生日本の平和主義者」にいかにして大変身していくかをビビットに描かれているといふ。又米国政府は天皇を対日占領の最大の協力者として利用すべく、極東裁判で裕仁を訴追せず、戦争責任を不問にし、日本を反共の防波堤として育成するた

めに、日米政府合作で「愛される象徴天皇制」を「再創造」したという。又著者は、いくつかのインタビュー記事で「本書は一言でいえば、日本本の免責のシステムについて語つたものだ」と答えている。これは「戦争犯罪を犯したものが説明責任、戦争責任も問われず、その結果戦争犠牲者も救われない免責のシステム」といった意味であり、これは天皇は法に縛られず、その法的責任も問われないという明治憲法上の規定に由来するが、同時に、米国政府は天皇を政治的に利用し、意図的に温存した。その結果「天皇の免責」が「日本人全体の免責」をもたらすという説明責任と道義的責任の回避を生み出している。だからあのバブル経済の形成と崩壊の際にも、責任をとった官僚も経営者もいなかつたのは、その結果だと言っている。こういふ無責任さを生まないためにも、昭和天皇が、仮に憲法規定とは逆に、国家元首として道義的責任を負い、国民に謝罪したとすれば、よい国民性を育んだのではなかいか。日米開戦後、米国

政府に「敵性外国人」として強制収容された日本人に、米国政府は八十八年、強制収容の非を認め、九〇年代に大統領の謝罪文と個人補償金二万ドルを約八万人に渡したという事実は、「強制収容」を「民主主義の汚点」と位置づけ、その解決を図ったことに、人権の書きを感じる。

第三に、日本における天皇研究のタブーの存在や出版不況の現況を打破すべきだ。○〇年、○一年と引続いてピュリツア賞に輝いた日本現代史の二つの著作が出版された。前者はジョン・タワー氏の「敗北を抱いて」(○一年春岩波書店刊行)、後者は前述のビッグス氏の作品。読者として欧米・アジア近隣諸国の人々が鋭敏な意識を持ちつつあるし、いまだに過去の精算がすんでいないという人がいると聞く。歴史の過ちに向きあうことは難しいが、こうした歴史を繰り返さないためにも、戦争責任や戦後補償など、戦後未解決の問題を再検討することが、いま必要ではないかと、しみじみ考えさせられた次第である。

合唱づくりの楽しみ

54年卒 音楽 唐津 感

毎週木曜日は私にとって特別な日だ。合唱の練習日と決めているからで、すでに十年も続いている。体内カレンダーと言うべきなのだ。この日の夕方、六十年ばかり八十年代の男が五十人ほど集まつてくる。発声練習ではじまり、読譜の説明やパートごとの反復練習など次第に雰囲気は盛り上がり、四部合唱へと進んでいく。

当初は十人程度だったのが、仲間が仲間を誘つて、今は大所帯になり、練習室も大部屋に移つた。

入団してくる人の殆どが合唱は初めてだが音楽の基礎的な能力など一切気にせず樂しく皆で歌つことをモットーにしているので、体調などの理由で退団する人以下は休季中に練習に出でてくる。カラオケのように一人で歌うのも楽しいものだが、

合唱には別の楽しみがある。各パートがまとまり、四声体を構成して男声特有のぶ厚いハーモニーが生まれ、力強い音量や陰影のある表現などの響きが次第に男声合唱の魅力となつてくる。男声特有的味はなかなか捨て難いものがあり爱好者が増えることを願う。日本の歌を中心にしており、唱歌や童謡、歌謡曲、演歌などを加えていて選曲は幅広い。市販の楽譜では男声編が少ないため、自分達で編曲を試み、わが合唱団に適応するよう音の組み合わせを工夫する。時には二度三度と改定していく曲もあり、団員を面食らわせることも次第に雰囲気が盛り上がり、練習を積み重ねていくと欲求が生じるものである。

合唱づくりは時間のかかる仕事であり、種々と試行錯誤も生ずる。その中で、の合唱団と共に演し、合唱の輪を広げている。

合唱づくりは時間のかかる仕事であり、種々と試行錯誤も生ずる。その中で、交流を持ちたいと函館、帯広、旭川、苫小牧など各地の合唱団と共に演し、合唱の輪を広げている。

定期演奏会が最大の行事だが、ほかにも学校、病院、老人ホームなどのボランティア出演もかなりの数になる。社会との接点を広げようとしている。

また、多くの合唱仲間と交流を持ちたいと函館、帯広、旭川、苫小牧など各地の合唱団と共に演し、合唱の輪を広げている。

や知人でホールは盛況になる。今度の定期はいつかといふ。定期演奏会が最大の行事だが、ほかにも学校、病院、老人ホームなどのボランティア出演もかなりの数になる。社会との接点を広げようとしている。

定期演奏会が最大の行事だが、ほかにも学校、病院、老人ホームなどのボランティア出演もかなりの数になる。社会との接点を広げようとしている。

幸い、演奏会のたびに客席は団員の家族はじめ友人



卷之三

卷之三

また、ご葬儀にさいしての  
教育学部同窓会の皆様のご  
厚情に、深く感謝いたしま  
す。



59年卒 教育史

竹田正剛

この転換は、すなわち、二〇〇〇年から二〇〇一年へかけては、社会の激動もさ

ることながら私の周囲や自分の人生にとつても激動の年月でしたし、悲しい別

れと新しい出会いの年月で

城戸藩太郎先生とともに  
北大教育学部の創設にあた  
られた名譽教授の鈴木朝英

卷之三

先生（教育史学講座）が、二〇〇〇年九月十一日夕刻、  
手足不全で乳癌の病院で、

逝去されました。そして二ヶ

月足らずの、同年十一月六日朝、名誉教授の上杉重三

郎(教育史学講座)が、この自

宅でご逝去されたのです

業績と熱心な指導にあらためて敬意と謝意を表すとともに、ご冥福を祈ります。

また、ご葬儀にさいしての  
教育学部同窓会の皆様のご  
厚情に、深く感謝いたしま  
す。

自らのことでは、教育学  
部の教員として三十五年、  
学生、院生の時代を含める  
四十五年の長きに亘つて  
お世話になつた北大教育学  
部を、「満六十三歳の直近の  
年度末」という北大の教員停  
年制により、二〇〇〇年三  
月三十一日に退職し、名誉  
教授となりました。教育史  
比較教育研究室をはじめ、  
教育学部や全学の皆さん方  
に筆舌に尽くせぬお世話に  
なりましたことを、心から  
感謝いたします。入学した  
当時は、音楽コースの最後  
の方が学んでおりましたし、  
学部にはピアノが何台もあ  
りました。城戸先生の比較  
教育の課題にかんする退官  
記念講義を直接聴くことも  
できました。

教育学部在職中に、附属  
幼稚園のグランドピアノの  
購入を丹保総長にお願いし  
実現したとき、心底に、城  
戸・鈴木両先生から学んだ、  
人間発達への音楽藝術や体  
育文化の優れた役割への強  
く深い想いがあつたかもし  
れません。停年退職にさい

スタロボイドフ画伯の明る  
い半具象の油絵を学部に寄  
贈いたしました。「いつもモ  
生、院生、職員とともに」と  
いう私の意を汲んでくれて  
学部では新設の2階廊下の  
休憩所に絵を掲げてくれま  
した。学部を訪ねる機会が  
ありましたらご覧ください。  
私事ながら、母竹田まつこ  
が、享年百歳で、二〇〇〇  
年三月十一日に死去したこ  
とも、人生の激動の一つと  
しました。

停年直後の二〇〇一年四  
月一日より、北海学園大学  
経済学部教授として勤務し  
ており、教授会メンバーに  
は、山田定市教授、高倉昭  
昌教授、小島康次教授など  
教育学部のかつての先生を  
卒業生が数人おりますし、  
他学部や非常勤講師を含め  
ると沢山の卒業生が教員とな  
しております。私が担当して  
いる科目は、「ロシア極東  
社会経済論」で、学部の二  
三、四年の昼間部の講義とゼミ  
ゼミ、夜間部の講義とゼミ、  
論文指導など七つです。

授業の数は、北大でも、

学部と大学院、教職課程、ときと共に通教育、補修教育など、近年は沢山持つていましたから、驚きませんでした。しかし、学生・院生・園大学でも、修士二名、博士二名、留学生一名と、北の数は、大学院は、北海学園大学でも、修士二名、博士二名、留学生一名と、北の大より少ないくらいですが、学部の受講学生数は、昼間部四三〇名、夜間部一〇〇名、ゼミ二〇名と、さすがに私立大学です。実に眞面目で、音楽芸術や体育文化を愛好する個性的な学生・院生が多く、沢山の新しい出会いに励まされております。院生四人のテーマは、サハリンの経済と専門職業教育、ドイツの義務教育史、保育の歴史的比較的研究、高校での情報教育の日米比較研究、など、経済学部ながら人間発達や人材養成への強い関心がみられます。社会人院生の多くが、高校教師看護婦、公務員であることも特徴的です。ロシア人たる生活のロシア、イギリス、日本との比較研究です。

ハリンへ、二〇〇一年は、モスクワ、シェンヤン、ダーリエン、サハリンへの調査研究やアカデミーでの研究報告をし、さらに、今年由テルブルグでの報告を予定しています。著書としては、「サハリン州の社会経済と大學改革」（二〇〇〇年、単著）、「サハリン州の社会経済と教育研究」（第五巻、二〇〇二年、編著）などです。この数年、サハリン州は、北海道や日本との諸地域と同様、自立的・持続的発展が求められており、三井、三菱も出資する国際合弁企業による石油ガス開発が進み、州内に「北方四島」を管轄しており、日本とロシアの姉妹都市の最多地域で市民交流も盛んです。約六〇万人の人々で八〇民族が共存してお題の解明にとつてかけがえのある方はご一報ください。

四〇四〇年と  
その風貌(十一)

四〇西學新編  
卷之二

(二〇〇一年八月二十四日)  
（北大名誉教授）北海学園大  
學教授

京のたびに東京杉並の御宅へ伺つていました。先生は、まず上京の目的、続いて研究の進展を質問するのが常でした。上京の目的は必ずあり、研究は速度はともかく進展しているので、答えるのは簡単です。ただちに乾杯となります。僕の御邪魔は三時間越えましたが、会話を独占したのは先生であります。話題は情勢・学部同僚の消息に尽きます。「今回の上京の目的は何かね」「その後、仕事の進み具合はどうかね」という間に答えるのは楽しいことでした。これから自問自答です。

◇ランニングと水泳は持続しています。ランニングは二〇キロメートル走るのが目標です。水泳は強いストローク修得が課題です。掌を高い位置に保ち、強く搔き瞬時に脱力し、かつ下半身の脱力も、というのが水泳教室のインストラクターの注文です。自分の身体の動きをイメージするのと制御は一体のものでしょう。自分の身体を自在に操る――幼少時から運動が苦手だつた僕が水泳に取り組んでいた目的です。と書けば大仰ですが、要するに水泳は集

わなくともよく楽しいからです。

卷之三

IL POSTINO(喫茶・画廊)を開店しました。場所は中

エウ・チエハヤフサは  
ぞ聞きません。ツミを観る

いました。おもしろい箇所と、難しくて理解できない

◆四〇四室その他で会つた同窓生のみなさんは以下のようでした。

ばかりだろうから来てあげた」と、寄つてくれたのは昨年のまだ暑い盛りでした。

央区北四条西十四丁目ライオンズガーデン一階。ミニ大通りに面しており、郵便配達狼の看板が掛かっています。

箇所を指摘してもらつたのです。資料調査の時間を与えられないまま執筆するには難行苦行でした。それで

玲子さんに会ったのを忘れていました。前号の追記です。昨年十一月七日に羽田発日航機の隣の席は菊地浩光さんでした。お互いにびっくりしました。二〇〇一年二月十八日、池田篤札幌クインテットコンサート(ジックピー・ホール)へ行きました。ピアノを弾いたのは有本紀さん。会場で久保村知彦・杉山敏彦さんと会いました。三月十七日には日置真世さんと四〇四室で、同二十三日には卒業式で多米会長・小島幹事長と、同二十四日には東京行飛行機中で菅原文さんと、同二十六日には国立国会図書館で新田和幸さんと、同二十八日には横須賀で佐々木(白取)真弓さん、横浜で白取通博さんと、四月七日には大通りで宮島成江さんと会いました。宮島さんは初夏の頃にまた会いました。

他の方々との出会いは、日時を記録していなかつたので曖昧なままに記してお

前で二〇〇〇年一〇月、北大図書館で望月由美子さんは今年の一月五日、勝部純明一家と銀座とは五月、に会いました。田渕(中田)三砂子・関友美子・渡辺あゆさ・桑原由布子・石田将吾・向井一弘・福浦奈朋子・福浦直樹・藤本佳志・高橋英一・廣川淑子・塚本智宏・深坂翠・石田勇貴・松村香奈・大谷右子・安原淳子・山本創・二俣みちる・湯浅雅之・吉田(三上)基子・葵谷雅之・中村瑞穂・山下ちづえ・川島るい・岡野直美・渡辺崇・山本美穂子・越後郁子・中西弘・前田輪音・小川正人・菅原誠・徳永誠一・岩井公司・荒閑沙織・鹿野能準・遠藤勝彦さんらとは、四〇四室やら学部のロビーやらで会いました。

阿部(長島)直子さんには、「教職入門」という講義で「臨床心理士として教員に期待するもの」を話してもらいました。学生に評判でした。

◇大谷薫さんが

◇鳥の観察は今年も不調です。二月にナナカラマドの害をドバト・ツグミ・スズメが食べるのを観ました。ドバトが枝先にぶら下がつて啄むのを初めて観ました。二月二十七日にはエゾシカが中央道路を駆け抜けるのに出つくわしました。農学部南のテニスコートにマガモの残骸がころがついていました。おそらく猛禽類の生業です。新緑の時節にはキビタキを楽しみました。どう今年は正門付近でウグイスが啼いたのです。マガモ・カルガモは少し増えたかもしれません。ハリオアマツバメの滑空は羨ましい限りです。ハシブトガラ・シジウカラ・ヤマガラは例年変わりません。カワラヒワ・ムクドリ・ヒヨドリ・エゴアカゲラは減りました。定休。

か、あれこれ考えてみましたが。僕の観察力が低下したことは思えません。これだけの木立に蟬も鳴かずキリギリスもないのです。自動車走行がほとんどなくななる分、大学内の機械音がよく聞こえます。清澄な雪景色に何種もの回転音・電子音が響き、名状しがたい匂いが分に襲われます。予期せぬ「音景」です——風景は音景も含む概念ですか？構内の環境悪化は確実に進行しています。実生で増えるのを防ぐため、ポプラ・ネグンドカエデニセアカシアばかりで、ルニレの樹勢は衰える一です。

◇「北大の一・二五年」が今三月に刊行となりました。僕が担当したのは創立から理学部ができるまでです。僕は昨年六月からこの仕事に追われていました。新生に配布するというので読みやすさに配慮し、学生高校生に事前に読んでも

農学部・理学部教授会記録を読み、女子学生入学の経緯を確かめたのは収穫でした。開拓使廃止後の農学校を帝国大学に発展させるうえで、佐藤昌介が重要な役割を果たしたこと、僕にとっては新鮮でした。有島武郎の日記は読み応えがありました。彼は恋と思想に苦悶していました。僕が北大に入学した一九六二年四月、「国文学」で和田謹吾が「せつかく北大に入ったのだから」と有島武郎「星座」、本庄陸男「石狩川」、伊藤整「鳴海仙吉」を読むように言いました。僕は三冊を早速買い求めて読みました。和田謹吾は「時代の素の缶から刻みたばこをとりだしてこう詰めてね」とパイプに詰める仕草を交えて、よく武田泰淳の話をしました。蘇軾を読んだ「漢文購読」(近藤光男)とともに至福の時でした。古河講堂付近の木造校舎での講義を思い出しながら、有島日記



◇今は教育史学会で発表する「自衛隊生徒の発足」――  
一九五五年の少年兵の原稿を書いています。防衛庁・陸上自衛隊少年工科学校へも行きました。別に、通つていた保育園、一九五〇年に入学した室蘭市立天沢小学校一年三組五十八人の行方、当時の道路と住宅配置を知るための地図や航空写真、父が勤務していた日本製鋼所室蘭製作所の歴史、日鋼ストライキ(一九五四年)など調べています。また別に戦没者寡婦特設教員養成所に関する資料の収集を行っています。会議の合間にしがみつくように調べています。

## 同窓会

◇同窓会でお目にかかるのを楽しみにしています。  
教育学部の思い出

大きな驚いたこと(ショック)が幾度もあるが、その殆どは学生時代に経験した。

先ず七四年三月の北大入試の時である。南国宮崎出身の少年は、生まれて初めての雪と強烈な寒さに出会つた。銀世界の美しさに感動、入試のことなどすっかり忘れ、雪と戯れていた。まさか四世紀半もの雪と付き合うことになるとは思いもしなかつたのだが。

七五年九月教育学部に移行したが、基礎ゼミのガイドンス時の先輩方の大人びて見えたこと。僅か一、二歳しか違わないはずなのに、十九歳の南国少年には、まるでおじさん達に見えたのだ。話の内容も初めて聞く言葉が次から次へととびだし、サッパリ理解不能で、これはどんでもない学部に来たものだと後悔しはじめた。ところが、移行生コンパ会場で知り合ったM村君、S藤君、W辺君らも同様だったとのことで、南国少年は再び意欲に燃えるのだった。

教育学部の先生方は、ま

79年卒 保健体育

藏 满 保 幸  
私のこれまでの人生で、

さに個性派の集団だった。特に印象的だったのは、上杉、美土路、狩野の三先生

だつた。上杉は講義というよりも演説を聞いていると言つたほうが良く、何か血がたぎるような思いをいつ感じていた。美土路先生はあの独特的の風貌、特に髪形、が如何にも学者然としておられ、講義の最後に「ござ静聴ありがとうございました」とおつしやるのが常で、それが楽しみで講義を受けていたよう気がする。狩野先生は物静かな語り口調でお話されるのだがその内容は難解だった。臨床心理のゼミ生もよく分からぬとのことだったので、多分本当に難しかつたのだろう。

身体発達グループに所属したが、トレーニング効果実験で、検査役、被検査役と毎日のようにトレーナードミル走行、吸気ガス分析を繰り返していた。自分の身体の変化を数値で見られることが面白く、実験以外でも良くてトレーニングをしていました。今でも夏は自転車、冬は歩きで通勤しているが、この頃の影響を受けているようだ。

(札幌国際大学観光学部)

ると、実験室に泊り込むこともよくあつた。授業の節目では先生方によく御馳走になつた。特に吉田敏雄先生にはお世話をなつた。打ち上げでは必ず「焼き肉食べ放題」に連れていていたが、ここぞとばかりに日頃の栄養失調を取り戻そうと皆必死だった。二倍元(もと)ではダメで三倍元以上でないと仲間に入れ貰えないのだ。もう肉もビールも入らないとなると、果物の出番だ。ペイナップルを食べ過ぎて口の周りが痛くなつても、それこそ必死になつてよく食べた。人間こんなに食べられるものだと驚いたものである。

現在大学に勤め、今の若い学生達を見ていると、自分があの頃の先生方と同じ立場にいることを実感する。その度に、先生方に少しでも近づきたいと心を新たにするのだが、恩師を越える路は遙に遠い。

体育関連の授業は数名から十名の受講人数だったのでも、毎日ゼミがあるようなもので、運悪く発表が重な

ると、実験室に泊り込むこともよくあつた。授業の節目では先生方によく御馳走になつた。特に吉田敏雄先生にはお世話をなつた。打ち上げでは必ず「焼き肉食べ放題」に連れていていたが、ここぞとばかりに日頃の栄養失調を取り戻そうと皆必死だった。二倍元(もと)ではダメで三倍元以上でないと仲間に入れ貰えないのだ。もう肉もビールも入らないとなると、果物の出番だ。ペイナップルを食べ過ぎて口の周りが痛くなつても、それこそ必死になつてよく食べた。人間こんなに食べられるものだと驚いたものである。

（88年卒 教育社会学 大塚功喜）

職業人(という言葉が現在あるのかどうか疑問だが)としての先輩諸氏に読んで頂くんだから…」「そうはいつても、自分自身を理解して頂ける内容にしないと意味がないしな?」「でも、バランスも大切だからなあ。だったら、まず章立てをこらして、次にこの内容、でもあります。磁気媒体が何かまだくことになり、うれしいやら、はずかしいやら…。いましてや、磁気媒体が何かに永久保存され、末代まで残された日にや!（投資対効果の面から、真っ先にはずされると思いますが）



面接をしたことさえ忘れた頃に気象台から採用の電話を頂き、晴れて四月から念願の公務員として働くことになりました。今日はここで誌面をお借りして、社会人となつてから私の近況についてちょっと述べたいと思います。

生まれてこのかた一十三年、いつも自宅から通っていた私も、就職を機に親元を離れました。一人暮らしといつても札幌市内、しかも私にとって馴染みの深い琴似でしたから、不安を感じるよりも自由になれて嬉しいのですが、いざ一人暮らしを始めるとなんと淋しいことか！二十三年間、私の帰る場所には常に誰かが居ました。それは母であつたり、時には父であつたり兄であつたりしましたが、いつも誰かが待つていました。でも、今は帰つてきても、誰もいません。思いのほか淋しがりやだつたらしく、一人暮らし初日には泣きました(もともと涙腺はゆるいのです)。親元を離れて初めて、帰る場所に誰かが居てくれることがどんなに安心できることなのが気づき、家

族の存在の大きさに気づかされました。今まで自分勝手に生きてきた分、これからは恩返しするために一生懸命働かなきやあかんと心に決めたものです。

しかし、職場にも仕事にもなかなか慣れない日々が続き、四月で既に仕事を辞めたいと思い始める有様。

週休六日だった大学四年生のダスマ人間生活から、毎日きつちり八時間労働するという普通の生活に戻るだけでもさあ大変。一人暮らしの寂しさと、職場に慣れないと生きがいを感じること何より元氣で明るかつた教育方法ゼミの仲間たち、お世話になつた、そしてこれからもお世話になるであろうすべての人たちに一ありがとうございました。

されたのは他でもない教育方法ゼミのみんなでした。大学に顔を出した時に、何か特別なことをするでもなし、他愛のない世間話をしたり、三ヶ月の間、私を支えてくれたのは他でもない教育方

(札幌管区気象台)



## 大学院に入学して、今考えていること

02年卒  
特殊教育・臨床心理学研究  
グループ 修士一年  
豊 巻 敦 人

ており、精神疾患の病態の生理的、心理的過程を調べるために、諸富先生の指導のもと、主に脳波を用いて基礎的な研究をしています。僕が心理学に興味を持つた理由の一つは、「人間はどう生きるべきか」とう壮大な問題に答が出せるか、ということがあります。この問いに対しても、「生きがいを感じること」が最も重要であると答えることは、誰もがうなずけるのではと思います。

今、僕が考えているのは、そもそも「生きがいを感じること」の生物学的背景は何だろうか、ということです。「生きがい」は、簡単に言えば目標行動を設定し、それに取り組んでいる時、あるいは達成された時のポジティヴな情動(感情)を指すと思します。そのためには、「認知」と「情動(感情)」の適切な相互作用が必要です。

例えば、目標行動に先行するこうした情動は、意欲、動機付け、気分などと呼ばれます。前頭葉が損傷するなど、無気力で行動や会話の量が乏しくなる症状がみられます。前頭葉が損傷する

ブな気分であるため、外界や自己に対して、絶望的・抑うつ的に捉えてしまうと、いう認知の異常もみられます。また、自分の状態を評価するのは、セルフモニタリングや実行機能などと呼ばれ、分裂病や自閉症などでは、主に認知の一部で異常がみられます。一方、脳迫神経症は、まだ達成されていないというネガティブな不全感が持続し、そのため行動し達成したと認知するのですが、その情動がまだ持続するため、ずっと同じ行動を繰り返してしまいます。これらの症状は全て、「認知」と「情動」のバランスが崩れています。実際、最近の脳の研究から、前頭葉と大脳辺縁系とが結合する領域が「認知」と「情動」を相互に関係付けます。そのためには、「認知」と「情動(感情)」の適切な相互作用が必要です。

するこうした情動は、意欲、動機付け、気分などと呼ばれます。前頭葉が損傷する成熟すれば、必ず「生きがいを感じること」ができるのでしょうか。

そして、四ヶ月経った今、私は元気に働いています。仕事を慣れてくるにつれて、

職場に馴染めないという問題もなくなりました。今まで迷惑は仕事に行くのが楽しいほどです。現在の私があるのは、私の周りにいた人たちのおかげです。今まで迷惑をかけてばかりだった両親を始め、教育学部の先生方、同じ学年や同じ部の友人たちは、使えない新入社員を辛抱強く見守つてくれていた札幌管区気象台の職員の方々、何より元氣で明るかつた教育方法ゼミの仲間たち、お世話になつた、そしてこれからもお世話になるであろうすべての人たちに一ありがとうございました。

どうして、私は元気に働いています。それは、自分が「生きがいを感じること」ができるからです。つまり、私は「生きがい」を感じる人間です。これが、私が「生きがい」を感じる理由です。



人は理屈では動かない。  
いや、人は理屈だけでは動かない。

85年卒 教育行政  
中出昭彦

早いもので、札幌市役所に入つて、この七月で九十五年が経過しました。

時の経過は、人にいろいろな立場を加えていきます。どんどん増えつづけるいろいろな立場に、「同窓会幹事」が追加されたのは昨年の秋でした。私個人としては、同窓会なるものに特別の思ひ入れがあつたわけでもなく、正直言うと、現在も特にありませんが、途絶えさせてしまふには、やはりもつたなさを感じて引き受けたわけです。

私の場合、人と話をする時、その人のどこか雰囲気などから、つい信用しちゃう(または、その逆で、つい疑つちやう)ということがあります。俗な言い方をすれば、馬が合う人はなにかピントきますし、どうも苦手な人は会つたその時からズーと苦手のままです。同窓生なんてのは、そのうちのピンとくる部類に近いのではないかと思つています。

ところで、私はかねてから、人は理屈で動かない、と思っています。ちまちました小事であれば、理屈で判断しちゃうことが多いと思いますが、その人にとっての重大事となれば、それは理屈じやないのではないでしようか。

私は、現在、札幌市役所で「福祉のまちづくり」、具体的には、バリアフリー社会の実現という壮大な仕事を担当しております。

当初建築用語からスタートした「バリアフリー」という概念も、近年は、①物理的バリア、②資格・制度的バリア、③情報・文化的バリア、④意識上のバリア、という四つの概念に広がっています。段差解消だけではないということです。バリアー社会の実現に向けて、四点目の「意識上のバリア」が全ての鍵を握っている

「総合教育」が必要なのか、などと安直に頭の中を過ぎたりしてます。となると、「札幌市だけはどうにもならんのかな」とか、「地方分権の推進と今後の教育の関係」はなどなど、漠然と頭をかすめています。

そんなわけで、教育学部出身者として標準的な「福祉関係」の職場を、入所十五年目で始めて経験することとなり、改めて初心に返つて毎日を新鮮に過ごしております。

最後に、折角の機会ですので、同窓会つながりで少々宣伝させていただきたいと思います(同窓会といつても高校の同窓会です)。私は後志の俱知安高校の出身ですが、当時の同級生で現在「作家」として活躍中のがいるのです。知る人ぞ知る「妖怪ミステリー作家 京極 夏彦」です。正

95年卒 体育方法  
山本暢宏

平成七年三月に卒業してから六年数カ月。教育学部時代は、実験授業と称して冬山ばかり通い、ほとんど毎日を新鮮に過ごしております。

その後、念願かなつて救助隊員として白石消防署で勤務することとなりました。悲惨な災害現場での人命救助活動に神経をすり減らす毎日でしたが、救助した市民の感謝の言葉が厳しい任務の支えとなりました。

また北海道代表として「全国消防救助技術訓練大会」に出場。体育方法ゼミで学んだことが、労働運動の分野でもかなり役に立ちました。

今度は全国一位を目指して訓練を開始した矢先異動となり、二年間の危険物規制事務を経て、現在は「札幌市総務局職員部勤労課」に出向中です。

人生とは面白いもので、事務職が嫌いで消防職を選

直面白と思います。是非是非、一度お読みください。あまり見聞はよくありませんが・・・。(札幌市役所)

んどのに、何のいたずらか球へ。帰国後は基礎ゼミで唯一参加していた体育方法門というお堅いところへ。当初は消防局の現場の仕事をさせてもらっています。すばらしい上司と同僚に囲まれ、最近はのびのびと仕事をさせてもらっています。卒業して六年数ヶ月。色々なことがあるものだなと自分でびっくりしている今日このごろです。

(札幌市総務局職員部勤労課)

年休学し、雪を求めて南半球へ。帰国後は基礎ゼミで唯一参加していた体育方法門というお堅いところへ。当初は消防局の現場の仕事をさせてもらっていました。ゼミになんとか入れてもらいました。せつせとスキー指導の研究に励んでおりました。この間進藤先生にはすっかりお世話になり、今でも学生に混ざり、すすきの及び北大周辺での「夜のゼミ?」に参加しております。

卒業後は札幌市消防吏員となり、北海道消防学校で六ヶ月間の初任教育を受けた後、念願かなつて救助隊員として白石消防署で勤務することとなりました。悲惨な災害現場での人命救助活動に神経をすり減らす毎日でしたが、救助した市民の感謝の言葉が厳しい任務の支えとなりました。

また北海道代表として「全国消防救助技術訓練大会」に出場。体育方法ゼミで学んだことが、労働運動の分野でもかなり役に立ちました。

今度は全国一位を目指して訓練を開始した矢先異動となり、二年間の危険物規制事務を経て、現在は「札幌市総務局職員部勤労課」に出向中です。

人生とは面白いもので、事務職が嫌いで消防職を選

## 会計報告 H12.10.19

H11.10.1		H11年度 同窓会総会
10.2~14		同窓会より他精算事務 支払500,640
10.14		北大教育学部払 祝賀会費@2,000×80 400,000
		" 写真集@2,000×300 600,000
10.後半		写真集送付事務 発送@ 273×245 66,885
H12.2.		北大季刊誌 リテラポプリ発送事務
3.		北大卒業式 同窓会長、幹事長参加
6.		市民会館 幹事会開催
6.20		北大創基125周年後援会 寄付100,000納入
7.		幹事宛幹事会議事録 送付
8.		同窓会より原稿集め 校正作業
9.		同窓会より製作事務(挨拶状、振込用紙、返信ハガキ、たより追悼号)
9.11		鈴木先生逝去
9.後半		鈴木先生追悼号の製作事務
9.後半		たより 追悼号 発郵事務
10.初		1,511通出 戻47通(10.16現在) 到着率97% 合計振込142人(10.2~3) 振込率9.4%

(H13.8.30)  
現在時点の会計財務の状況  
は、五〇周年記念事業、

副会長  
吉橋伊多米  
田内藤哲  
敏也豊

同窓会・会務・会計  
財務報告

故鈴木朝英先生特集号の作  
製、北大一二五周年記念事  
業寄付等の臨時支出により、  
一六二千円程度の赤字です  
が、同窓会総会にて承認(H  
13.10.18予定)前の  
ため、正規の発表が出来ま  
せん。  
依つて発表分は、H12  
年一〇月一九日同窓会総会  
において、承認を戴いた前  
年分です。

## 資産内訳

10/13 郵便振替残	283,153
銀行預金 東京・三菱	497
銀行預金 北洋	73
小口現金	△138,488
合 計	145,235

## 未払金

(有)ハナミ印刷	608,475
(株)廣済堂	19,320
合 計	627,795

## 現時点での不足額

未払金627,795円 - 手持金145,235円  
=482,560円

## 会計財務報告 H12.10.13

収入の部			支出の部		
No.	項目	金額	No.	項目	金額
1	前期より繰越	1,134,338	1	前年総会時支払	420,000
2	前年度総会時収 46人	470,000	2	幹事会費用	60,504
3	会費持参分	0	3	交通雑費	9,630
4	会費振込分 232人	495,140	4	慶弔費	23,673
5	利息	0	5	同窓会より製作	229,107
6	利息	0	6	事業費	795,472
7	雑収入	100,000	7	通信費	515,857
				小計	2,054,243
				次期繰越し金	145,235
	合 計	2,199,478	合 計	2,199,478	

会計幹事 奥田利恒  
山貢義彦

平成十二年十月十九日

以上、監査結果を報告致  
します。

平成十二年十月十八日、事  
務局において幹事長立会の  
もと、北大教育学部同窓会  
の会計監査の結果、事業計  
画に基づく業務執行並びに  
収支の処理、予算の執行な  
ど、すべて適正に行われて  
おり、妥当であることを認  
めます。

監査報告

資産内訳(85,623)

小口現金	42,490
郵便振替残	42,553
銀行預金 東京・三菱	497
銀行預金 北洋	83
合 計	85,623

## 借入金

会長 200,000  
小島 48,330

H13年6月23日時点の状況は

借入金248,330円 - 現金85,623円で  
162,707円の赤字です。

## 会計財務 自H12.10.14～H13.6.10

収 入	支 出		
H12.10.13 前総会時 残	145,235	総会支払	215,592
総会時収入	303,000	たより制作費	579,500
借入金(会長)	200,000	通信費	42,440
借入金(小島)	139,488	雑費	6,300
会費納入(125人)	239,400	慶弔費	6,510
		返済(小島)	91,158
		小計	941,500
		次期繰越	85,623
合 計	1,027,123	合 計	1,027,123

左表は、本年六月二十三日幹事会にて報告した、会計財務状況です。

H一二年一〇月一九日現在  
四八二、五六〇円の赤字は  
一六二、七〇七円まで縮小  
しました。

同窓会は赤字転落  
会費を納入下さい

い。 人間関係のある方々に限り  
てありますので御了承下さい  
二十三日幹事会の出席者と  
は思いますが、現在は六月  
くの方々が御協力下さると  
尚、事情を知れば更に多  
くの幹事会の出席者と  
は思いますが、現在は六月  
は思いますが、現在は六月  
れてありますので御了承下さい  
い。

当日幹事会において此の  
赤字額解消のための検討が  
なされ、「同窓会だより」で  
の個人名刺広告、企業広  
告、個人寄付金の募金が決  
議された。  
その結果、左記の方より  
寄付金が寄せられました。

この事に就きましては、既  
に平成十二年十月一日付、既  
第十七号「同窓会だより」に  
発表致しましたが、収入支  
出のラグがあり、充分御理  
解を得ていませんので、再度報告致します。

江別市大麻園町二十九十一  
小島 忍

二六八、〇〇〇円を二〇七、  
〇〇〇円超過する事業を行  
いました。  
尚、五〇周年記念写真集へ一  
部二、〇〇〇円 十二冊)は、  
事務局にて保管中です。  
御用の方は是非購入下さい。  
事務局

〇一一(三八六)五四四七  
忍

収入の部	支出の部		
年月日	内 容	金 額	
会員よりの寄付 243人 H11.9.28～ 2,268,000円	5.10 50周年事業趣意書作製、発送	137,000	
	5.27 事業内容検討幹事会(エルム会館)	120,000	
	6.10 作業配分検討幹事会(ニューサッポロ)	56,000	
	8.24 中間報告幹事会(サンプラザ)	63,000	
	9.2 記念植樹代(高島造園)	881,000	
	10.14 学部払 50周年記念祝賀会 負担金(80人)	400,000	
	" 学部払 50周年記念写真集購入 300冊	600,000	
	" 学部払 同消費税	30,000	
	" 50周年北大公共楽団謝礼	20,000	
一般会計より補填 207,000	11.10 創基50周年記念碑建立費	147,000	
	11.26 幹事報告会	21,000	
合 計 2,475,000	小 計	2,475,000	

☎063-0828 札幌市西区発寒8条14丁目514-28

電 話 (011) 665-2461

FAX (011) 662-0478

顧問 小 島 忍 (幹事長4回生)

一般住宅 営繕 設計 施工

有限会社 支 島 工 務 店

## 〔一般〕

卒年	氏名	成績	卒年	氏名	成績
1954	多米 豊	敢闘賞	63	山田 有毅	
54	佐渡 清隆		63	高橋 洋介	
55	平野 信吉		71	山本 哲二	
56	吉田 敏雄		72	吉田 敏博	J B 7位
56	今井 康利		74	堀川 素人	
56	加藤 正司	S B 1位	75	奥野 彰	
56	小島 忍		88	大塚 功喜	
61	田尾 直之	S A 14位			
		(備考) GS グランドシニア S シニア J ジュニア			

隣地の工事用仮覆は、遺跡発掘現場であった。さて、今から幾期かの地質時代を経た後その頃栄えているであろうネオサピエンス達が、(写真右下の)植樹記念碑を掘り起こし、「ホモサピエンスとは樹を植える動物であつた」と論文を書くことであらうか。

## 第2回北大同窓会ゴルフ会開催される

多米会長敢闘賞、団体は  
二位。

二十七年間続いている首記  
大会は去る八月十九日(例  
年八月第三日曜日)札幌エ  
ルムカントリークラブにお  
いて、同窓生二二〇人が出  
席して無事終了しました。  
当学部からは多米会長を始  
め下記の十七人が出席しま  
した。興味のある方は是非  
参加下さい。

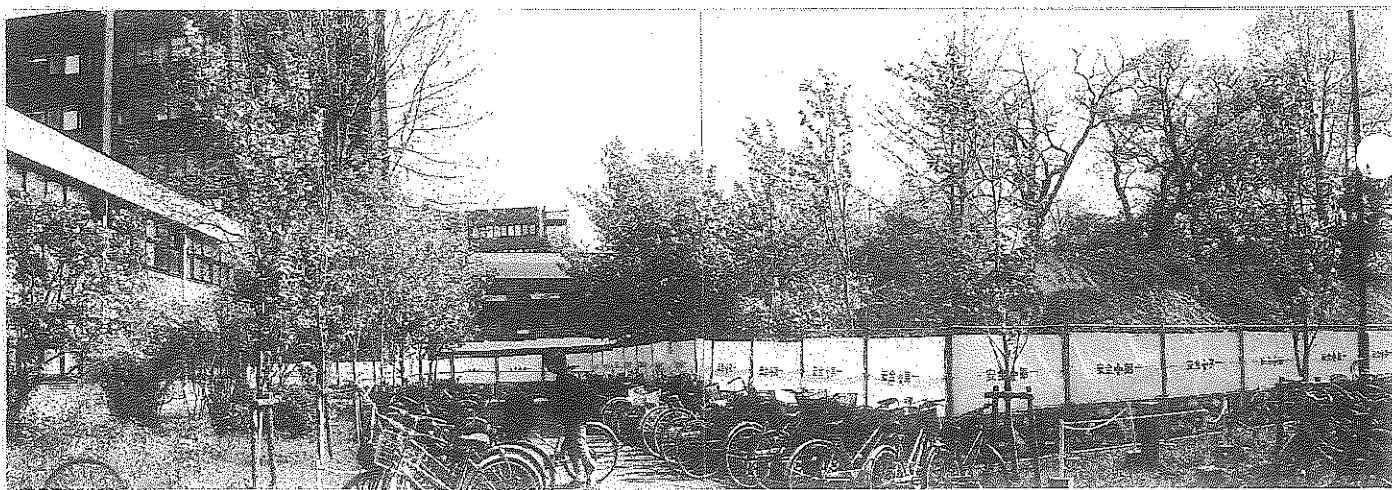
## 〔選手〕

卒年	氏名	団体成績	個人成績
1955	常本 勇	2位	G S、7位、B G
1969	谷 雅之	2位	

・年卒 教育社会学

## 中村 裕

五月十八日、幹事長と一緒に、会報掲載用の写真を撮りに大学へ行つた。当日の教育学部玄関前的情况は、あまり情緒的とは言えないが、同窓会寄贈の「学部創立五十周年記念植樹」の桜は確実に根付き、一寸恥ずかしげに若々しい花を咲かせていた。年々歳々花相似たりとは言うものの、いずれは奥の老桜のように盛大に花を咲せ、豪華な並木を形成することだろう。その時、散つた花や落ち葉をどうするか、清掃担当者の労働強化か、雇用増か、はたまた学生のボランティアか、などと、つい無粋なことを考えてしまう。



同窓会寄贈の桜並木と石碑

子どもの心相談医

## ため小児科医院

院長 多米 豊  
(同窓会長2回生)

札幌市西区山の手2条1丁目6番14号  
(011) 611-3718番

眼科一般・コンタクトレンズ処方

木・日・祝日休診 土曜PM5:30まで  
予約診療あり

 す ず き 眼 科

院長 鈴木 泰 (19回生)  
恵庭市柏陽町3丁目22-8 ☎32-6666